

●ゲホウグモ (*Poltya illepidus*) とは



ゲホウグモは本州南部、四国、九州、南西諸島に見られるコガネグモ科のクモで、名古屋周辺でも見る事が出来ます。夜間に非常に目の細かいレコード状の巣を張って獲物を捕獲するのですが、この巣は早朝に取り壊してしまうため夜間にしか観察する事はできません。

昼間は岩石や樹木の表面で脚を縮めてじっとしているのですが、これが実に見事な擬態でなかなか見つける事ができません。今回は日進市で発見したゲホウグモの擬態の様子をレポートします。

●ゲホウグモの擬態：石に化ける



上写真は石(仏像)の表面で擬態しているゲホウグモです。どこにいるかわかりますか？脚を縮めてじっとしていると石の一部に見えてきます。私も見つけるのに非常に苦労しました。

●ゲホウグモの擬態：石に化ける



脚を少し伸ばすとクモである事がわかりますが(左写真)、体色は石と相違ありません。夕方になると移動を始め、巣を造るために糸を前脚で纏め始めました(右写真)。

●ゲホウグモの擬態：木に化ける



朽木の表面にもゲホウグモを見つける事ができました。正面から見ると木のコブにしか見えませんが、何だかお面の様な模様にも見えますね。

●ゲホウグモの擬態：木に化ける



朽木の表面でじっとしているゲホウグモを横から見てみますと、脚を拡げればクモの仲間である事が分かります(左写真)。しばらく観察していると、脚を拡げて動き出しました(右写真)。脚の奥には目が見えますね。

名古屋近辺では、6月～8月頃に掛けてゲホウグモを見る事ができます。公園や里山、寺社の境内地など様々な場所で生息していますので、皆様も探してみると面白いと思います。